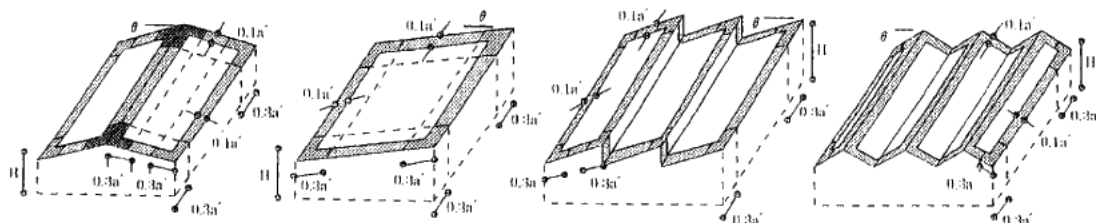


切妻屋根面、片流れ屋根面及びのこぎり屋根面の負のピーク外圧係数

部位	$\theta$	10度以下の場合	20度	30度以上の場合
 の部位		-2.5	-2.5	-2.5
 の部位		-3.2	-3.2	-3.2
 の部位		-4.3	-3.2	-3.2
 の部位		-3.2	-5.4	-3.2

この表において、部位の位置は、下図に定めるものとする。また、表に掲げる $\theta$ の値以外の $\theta$ に応じたピーク外圧係数は、表に掲げる数値をそれぞれ直線的に補間した数値とし、 $\theta$ が10度以下の切妻屋根面については、当該 $\theta$ の値における片流れ屋根面の数値を用いるものとする。



この図において、 $H$ 、 $\theta$ 及び $a'$ は、それぞれ次の数値を表すものとする。

$H$  建築物の高さと軒の高さとの平均 (単位 メートル)

$\theta$  屋根面が水平面となす角度 (単位 度)

$a'$  平面の短辺長さと $H$ の2倍の数値のうちいずれか小さな数値 (30を超えるときは、30とする。) (単位 メートル)